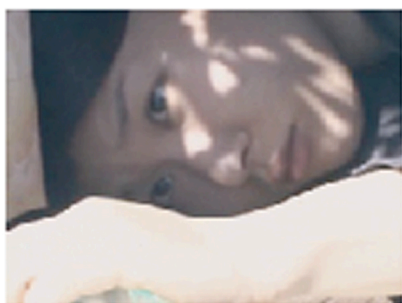


蒲田映画祭 2016 参加・東京ビデオフェスティバル・アーカイブス

ガールズ ワールド ワールド

映像へようこそ!



最近女性映像作家が台頭しています。しかもその多くは個人映画やアニメーションの世界で新風を巻き起こしています。今回取り上げたのは無名だが、ドキュメンタリー・ドラマ・アニメの新しい地平を問うものばかり。彼女たちの感性で、身近の中にある不条理世界を見事に描きます。

日時 10月16日(日) 10時30分～12時30分

会場 大田区産業プラザ Pio 3F 特別会議室

- 交通 京浜急行「京急蒲田」駅 東口 徒歩4分
JR、東急「蒲田」駅 東口 徒歩12分
- 入場無料 登録なしでも視聴できます。
- 企画 NPO法人 市民がつくるTVF
- お問い合わせ：お申し込み

070-4150-2167 email nptvinfo@gmail.com



ガールズ ワンダー ワールド 映像へようこそ!

解説 / 小林はくどう

東京ビデオフェスティバル審査委員
成安造形大学名誉教授



「Plays the air」 監督/内田セイコ 19'54"

メイクアップアーティストを目指す主人公・美沙子が平凡な日常生活から脱し、目標に向かって生きることを両親に誓うというドキュメンタリータッチのドラマ。

夢を抱く喜びと不安の中で、そんな自分と別れを告げ、地に足をつけて生きることを決心した。



「つぶつぶのひび」 監督/大木千恵子 20'

時給 850 円、1 日 60 万個作られる納豆工場でのバイト生活の私。何のために生活しているのか、退屈な日々は過ぎていく。

そんな日常から少し脱出しようと思った。

風俗で働いている友達との再会、パイロットとの出会いをきっかけに、私は自分の足元を再確認する。



「きっと世界はずばらしい」 監督/川満佐和子 15'3"

女子高生は直感で独りの男子高校生の言動が気になっている。彼には充実感がないのだろうか。放課後、彼は屋上でうっぶんを晴らすかのように絶叫を始める。

彼女も気付いて駆け上がり絶叫を始め、二人に安堵感が漂う。

枠にとらわれないドキュメンタリーのような自然体の演出とクローズアップが新鮮。



「ネジとネコ」 監督/馬場美紀 9'25"

線画タッチのメルヘンなアニメーション。

工場でネジを作り続けているしがないネコ職人が主人公で不可思議なカフカ文学を連想させる。

華やかなテレビの芸能人を見て、自分を惨めに思うようになり、落ち込み、引きこもりになってしまう。しかし嵐で壊れた時計塔を直し、ネジの重要さを再認識し、元気になる話だ。